

ポエティウス『哲学のなぐさめ』

初版第1刷 正誤表 (2024年3月22日更新)

		誤	正
6頁	11行目	訪れる	訪れれば
42頁	10行目	ムーサの <sup>(2)</sup> 歌の末尾に	ムーサの歌の <sup>(2)</sup> 末尾に
80頁	11行目	満たしたい	充たしたい
84頁	2行目	幸いなるはいにしへの	幸いなるは、いにしへの
同頁	7行目	知らなかった、ボックスの	知らなかった——ボックスの
90頁	2行目	悪徳的な情欲が鎖で	悪徳的な情欲がほどけない鎖で
123頁	註(1)	「ポエティウス」発言	「ポエティウス」の発言
148頁	6行目	敬虔なるひとたちの静謐な安息	敬虔なひとたちの静謐なる安息
158頁	5行目	……とはなにか認識されたら	……とはなにかが認識されたら
176頁	17行目	愛しあう者に掟を与られるか	愛しあう者たちに掟を与えられるか
218頁	6行目～	註番号(3)～(7)	註番号(2)～(6)
253頁	9-11行目	なるほどわれらが、……にふさわしくされるにしましても。このへりくだりこそは	もしほんとうにわれらが、……にふさわしくされるというのでしたら。この交流こそは
261頁	5行目	信じています	信じています <sup>(4)</sup>
同頁	7行目	逆さまで <sup>(4)</sup>	逆さまで <sup>(5)</sup> ※ 併せて、現在の註(4)を(5)に。
同頁	註(4)	(追加)	本巻第三散文二〇—二一を参照。
262頁	17行目	かたちを	かたち [形相] を
269頁	1行目	それらには逃げようとしたり、欲求しよう	それらには、逃げようとしたり欲求しよう
278頁	17行目	直観します	直観しています
281頁	註(6)	ヒエロクロス……	本巻第三散文三四。また、ヒエロクロス……
324頁	16行目	「神」を呼ぶ	「神」と呼ぶ
329頁	6-7行目	人間が神と交流しうる唯一の手段たるへりくだりや、それにとづく希望や祈りが	人間が、神の恵みにふさわしくされて神と交流しうる唯一の手段たる希望や祈りが

330 頁

2 行目

感覚とおして

感覚をとおして